

■ 損益の考えかた

購入時の基準価額(個別元本と言います)と売却時の基準価額の差額が損益になります。

❓ 同じ投資信託を複数回購入している場合、個別元本はどのようになるでしょうか。

複数回購入した場合の個別元本は、購入数量(口数という単位で表示)で平均した価額となります。

以下の例では次のように計算されます。

$$\text{③購入数量(口数)} = \frac{\text{①購入金額}}{\text{②購入時の基準価額}} \times 10,000$$

$$\text{⑥個別元本} = \frac{\text{④累計購入金額}}{\text{⑤累計購入数量(口数)}} \times 10,000$$

購入月	① 購入金額		② 購入時の 基準価額 (1万口あたり)	③ 購入数量(口数)		⑥ 個別元本
		④ 累計			⑤ 累計	
2022年1月	20,000円	20,000円	10,000円	20,000口	20,000口	10,000円
2022年2月	20,000円	40,000円	9,600円	20,833口	40,833口	9,795円
2022年3月	20,000円	60,000円	10,200円	19,607口	60,440口	9,927円

基準価額が個別元本を上回るようであれば利益、下回るようであれば損失ということになります。

■ アンサーネットの表示(PC版) スマートフォンでは表示が異なります

アンサーネットでは、以下の例のように日々の時価単価に対する損益を表示しています。時価単価10,800円が個別元本9,927円を上回り利益が出ています。表示されているのは評価損益であり、商品の売却をしなければ実際の損益は確定しません。

<表示例>

個別元本はの場合9,927円ですが表示していません

商品タイプ	運用商品名	時価単価 (1万口当り)	残高数量	資産残高	購入金額	損益 損益率	分配金
国内株式	●●ファンド	10,800円	60,440口	65,275円	60,000円	5,275円 8.8%	0円

各項目の計算方法

$$\text{時価単価} = \text{基準価額} - \text{信託財産留保額}$$

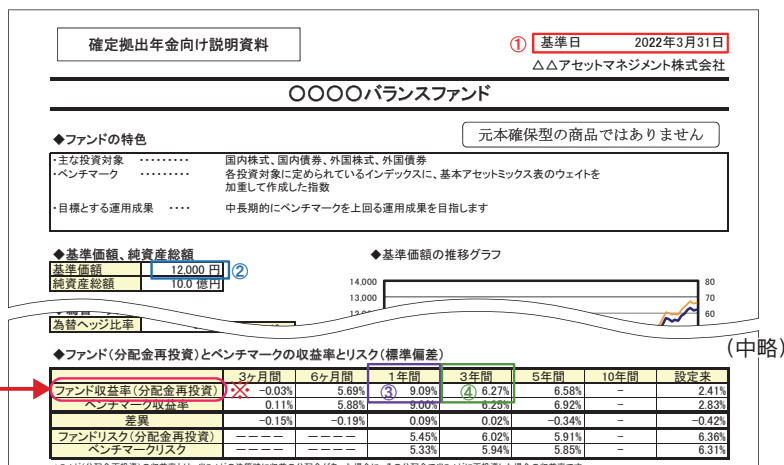
$$\text{資産残高} = \text{時価単価} \times \text{残高数量}$$

$$\text{損益} = \text{資産残高} - \text{購入金額}$$

$$\text{損益率} = \frac{\text{損益}}{\text{購入金額}}$$

確定拠出年金向け説明資料(データシート)の表示

リターンはファンド収益率として3ヶ月～設定来(運用期間)ごとに表示されています。



例えば...

- ③の1年間の運用期間は9.09%となっていますが、1年前の2021年3月31日に購入し(投資開始日)、①の基準日2022年3月31日で売却する場合のリターンが9.09%であることを示しています。
- このように運用期間でどのくらい値上がりしたか(マイナスの場合は値下がりしたか)をみることができます。

※データシートでは、リターンはファンド収益率(分配金再投資)と表示されています。

計算方法 リターンは、投資開始日と基準日の基準価格を比較して、その運用期間の価格変動を率(%)として計算されています。なお、運用期間が1年以上の場合は年率換算をした数値で表します。

$$\text{リターン} = \text{運用期間中に得られた利益(もしくは損失)} \div \text{投資額}$$

- ① **基準日とは?** リターンを計算した日のことで、一般にこのような資料の場合、月末最終営業日です。
- ② **年率換算とは?** 異なる期間のリターンを比較するためには期間をそろえる必要があり、1年間に換算した収益率、すなわち年率換算した数値が用いられています。ただし、期間が1年未満の場合は年率換算を行いません。
- ③ **ベンチマークとは?** 投資信託の運用における運用目標となる基準のことです。 [ページ参照 P.46](#)

以下の2つの具体例を参照ください。いずれも現在(基準日)の基準価格は②の12,000円です。



※実際に売却する際の売却費用は考慮していません。

読み方 運用期間別のリターンにより、現在の状況が長期・短期的に過去から上向きあるいは下向きであったのかを読み取ることができます。ただ投資開始日と基準日の2点間の状況なので、運用商品の選択にあたっては、リターンだけでなくリスクなど他の様々な情報も参考にしてください。